



令和3年7月9日
国立研究開発法人土木研究所

オープンイノベーションによる自律施工研究の促進 ～建設ロボットによる自律施工デモンストレーションの実施について～

7月30日（金）、国立研究開発法人 土木研究所（理事長 西川和廣、茨城県つくば市）は、同研究所および国土技術政策総合研究所内に整備した建設DX実験フィールドにおきまして、建設自律施工のデモンストレーションを行います。土木研究所にて開発中である「自律施工技術基盤（以下、プラットフォーム）」の利用事例の一つとして実施し、プラットフォームを研究開発者へ広く周知することを目指します。また、今後のプラットフォーム開発の参考とするため、参加された研究開発者との意見交換会も実施します。

実施内容

令和3年7月30日（金）14:00 開始

- ・ 自律施工デモンストレーション（約30分、場所：建設DXフィールド）
- ・ 報道関係者との質疑応答（約20分、場所：建設DXフィールド）
- ・ 研究開発者との意見交換会（約60分、場所：土木研究所 ICHARM 講堂）



デモンストレーションイメージ

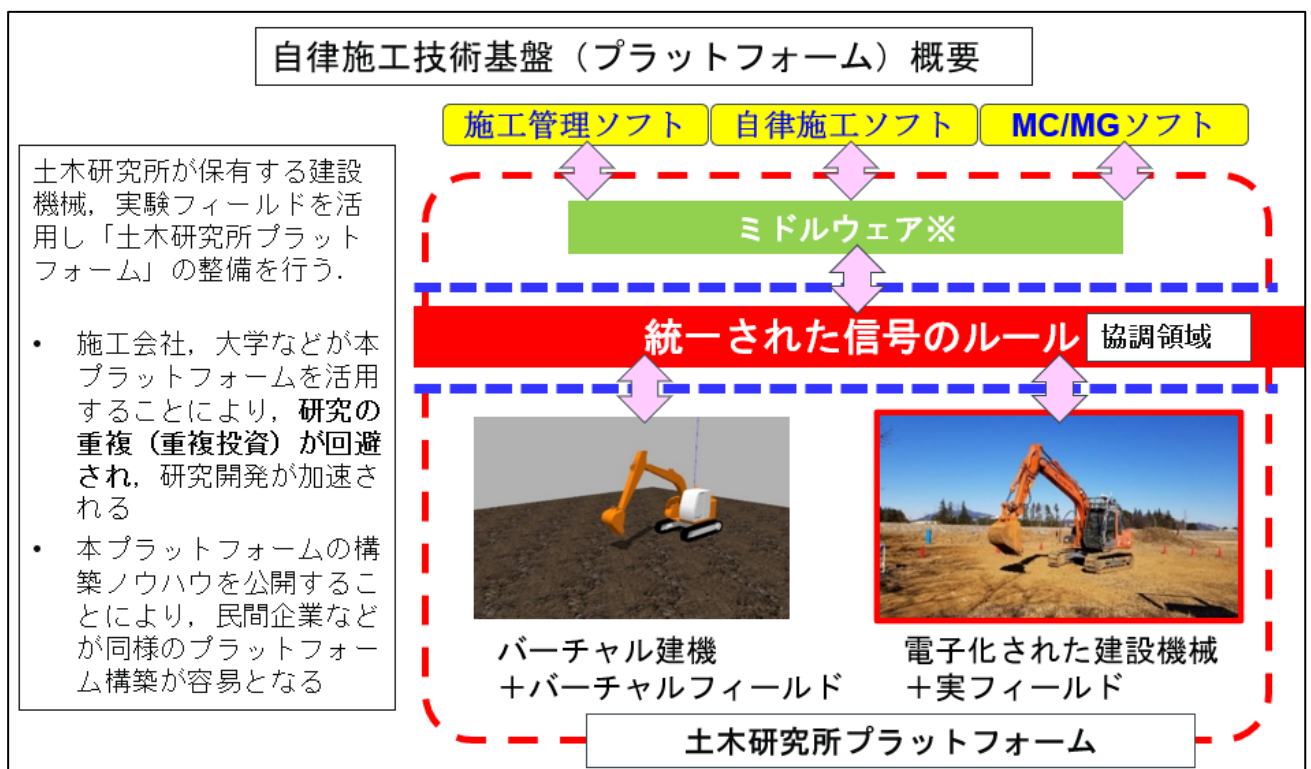
※実施背景、参加申込要領は別紙参照

問い合わせ先

国立研究開発法人土木研究所
技術推進本部 先端技術チーム 上席研究員 山口 崇
主任研究員 橋本 毅
電話番号 029-879-6757
住所 茨城県つくば市南原1-6

実施背景

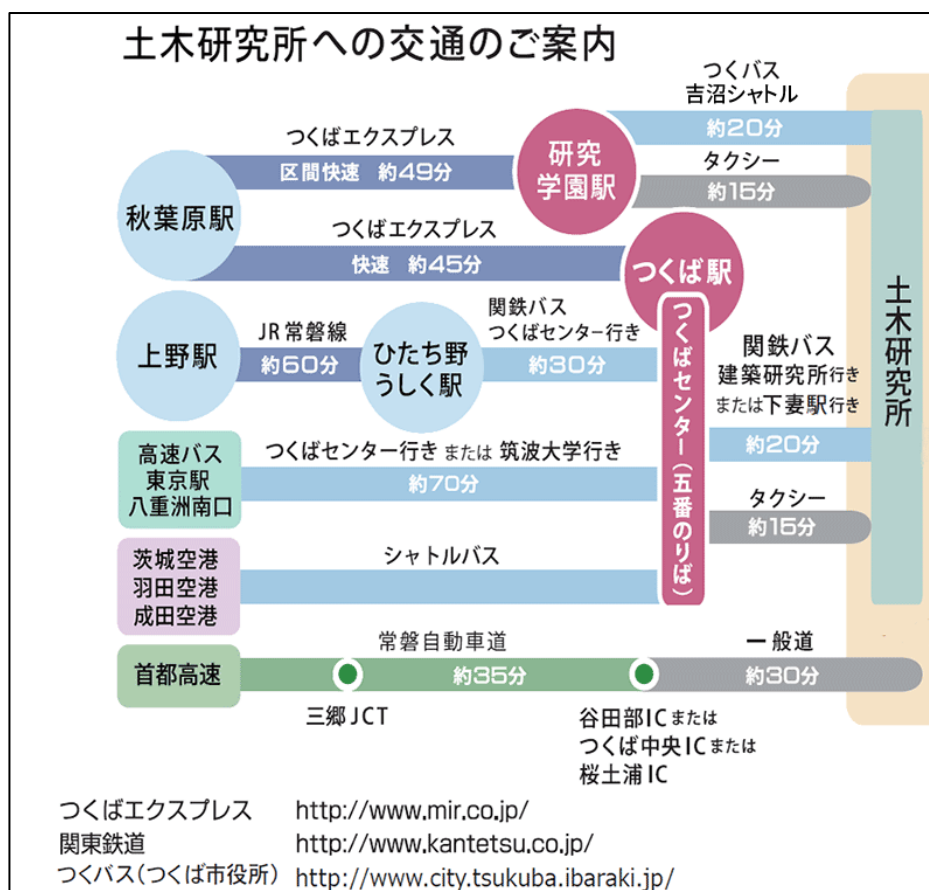
- ・ 土木研究所では自律施工研究開発の効率化に資するプラットフォームの開発を行っております。
- ・ プラットフォームは研究開発に必要なフィールド、建設機械（電子制御化された）、それらを再現したシミュレータ、ミドルウェアなどで構成されており、様々な研究開発者が利用することで自律施工研究の加速化が期待されるものです。
- ・ プラットフォーム利用事例の一つとして、油圧ショベルと不整地運搬車による連携作業（掘削・積込み・移動・放土）についての自律施工デモを行います。本デモにより、「プラットフォーム」の構成と研究開発の利便性向上を広く研究開発者の方々へ知っていただき、さらに積極的な活用をしていただきたいと考えております。
- ・ また、今後の土木研究所プラットフォーム開発の参考とするため、参加された研究開発者との意見交換会も実施します。



プラットフォーム概略

その他

- ・ 報道関係者は質疑応答までの参加とさせていただきます，意見交換会は非公開とさせていただきます。
- ・ 参加は事前登録とさせていただきます。下記「申込み方法」を参照の上メールにて申し込みください。
- ・ 7月30日が雨天の場合は8月2日（月）に順延とさせていただきます。その場合は前日18時までにメールにてご連絡差し上げます。
- ・ 土木研究所までの交通手段は以下の通りです。



申込み方法

参加を希望される場合は，以下を記載の上，メールにてご連絡ください。

件名：【参加希望】自律施工デモンストレーション

本文：氏名（フリガナ），所属，連絡先（住所，電話番号，メールアドレス），参加人数，交通手段（車の場合は台数）

申し込み先：国立研究開発法人土木研究所 技術推進本部 先端技術チーム 佐藤宛

メールアドレス：sentan(AT)pwri.go.jp
(AT)を@に置き換えて送付ください

申し込み期限：令和3年7月23日18時まで

注：新型コロナウイルス感染拡大防止のため，**報道関係者は1社1名，企業関係者は1社2名，大学関係者は1研究室2名**までとさせていただきます。また，先着順により参加を制限させていただく場合がございます。